



平成27年度 長沢中学校 学校評価報告

平成 28年 3月
学校長 加藤 直竹

このたびは、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校評価アンケートは、①開かれた学校づくり ②教育活動、内容の質の向上 ③学校の活性化 ④教職員の資質向上 を目的として、全校生徒、保護者を対象に実施しました。アンケート結果について、ここに報告させていただきます。

<評価アンケート実施対象者と回収率>

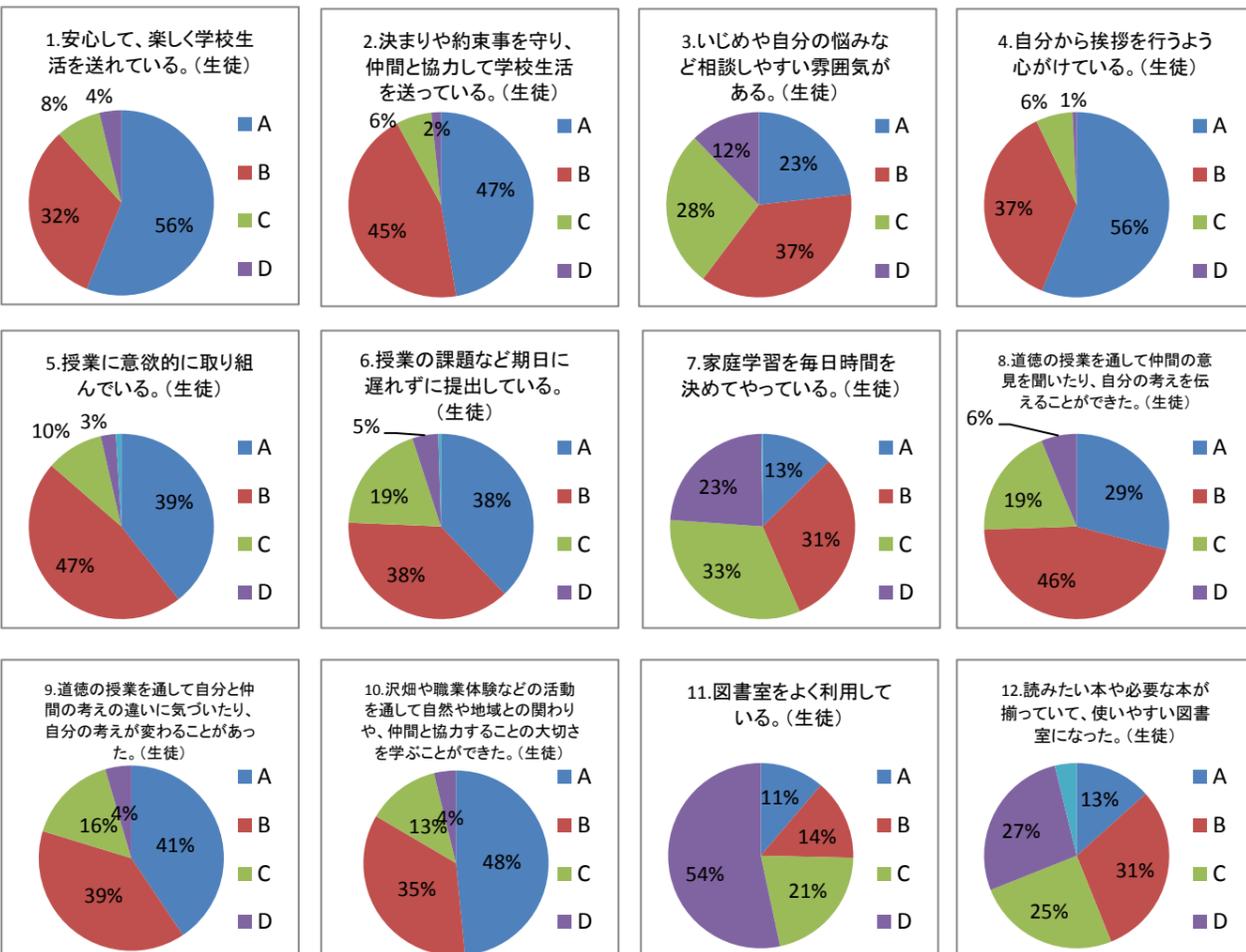
生徒による評価の回答数

1年生	141名 (該当 145名)	97.2%
2年生	124名 (該当 129名)	96.1%
3年生	132名 (該当 138名)	95.7%
5・6組	21名 (在籍 22名)	95.5%
回答数	418名 (該当 434名)	96.3%

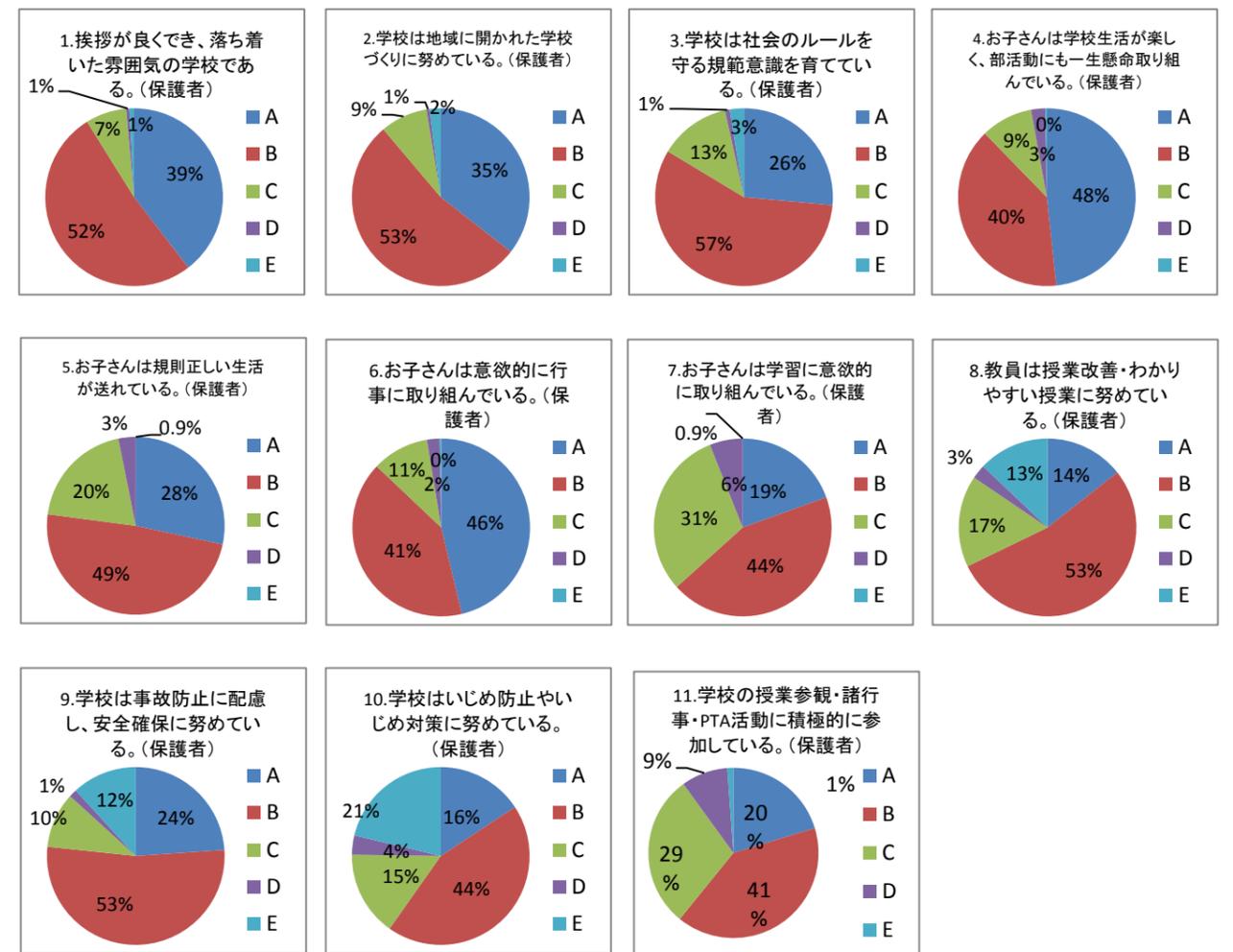
保護者による評価の回答数

1年生	133名 (在籍 145名)	91.7%
2年生	112名 (在籍 129名)	86.8%
3年生	94名 (在籍 138名)	68.1%
5・6組	12名 (在籍 22名)	54.5%
回答数	351名 (在籍 434名)	80.9%

<生徒用アンケート集計結果>



<保護者用アンケート集計結果>



生徒

A: よくあてはまる
B: ややあてはまる
C: あまりあてはまらない
D: あてはまらない
E: 無回答

保護者

A: よくあてはまる
B: ややあてはまる
C: あまりあてはまらない
D: あてはまらない
E: 判断できない
F: 無回答

< 分析 >

【 学校長より 】

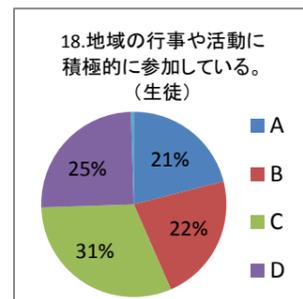
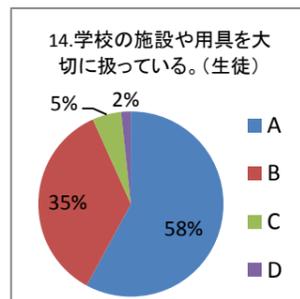
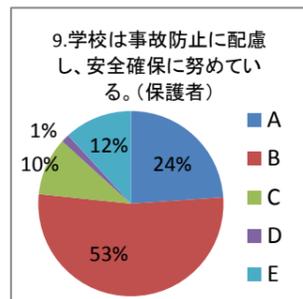
「かけはし NO.9」（1月号）でお知らせしたように、過去3年間の結果と比較してみると、生活面・学習面共に概ね良好な結果だと考えます。特に、「挨拶」「行事への取組」「道徳」の部分での前進が見られます。今後も家庭・地域・学校が協力し生徒の成長を促していきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

【生活】

- * 教職員は地域や各家庭の協力を得ながら、生徒が各行事や部活動など意欲的に参加し、楽しく充実した学校生活を送れるよう常に努力しています。
- * 今後も、「道徳」や「学活」等あらゆる場面において、お互いに認め合う心を育て、生徒の安全を確保しつつ、社会のルールやマナーの大切さを導くとともに、規範意識を育てながら、生徒が安心して学校生活をおくれるよう努力を続けます。
- * 「生活アンケート」や「校内巡視（生徒観察）」・「二者面談」等いじめ防止に努めていますが、さらに、細部にわたり目や気が届くよう、教職員全員が全力で取り組めるように努力します。

【管理】

- * 事故防止・安全確保のために、「安全点検」を行い、素早く対応・修繕を行っています。しかし学校の立地や構造上、危険な所はがあるので、生活の仕方について考えさせる指導を続けます。（→保護者アンケート9）
- * また、「地域との連携」と「防災教育」向上のために、「避難訓練」・「町内会別集団下校」を計画的に実施し、生徒も意識を持って取り組みました。町内の方々との顔合わせは、地域の活動にあまり積極的ではない生徒が多いので（→生徒アンケート18）特に大切と考えます。
- * 生徒たちは、学校の施設や用具を大切に使用しているという意識が高く、（→生徒アンケート14）今年度、破損等は多くはありませんでした。物を大切にすることを高めるよう、今後も取り組んでいきます。

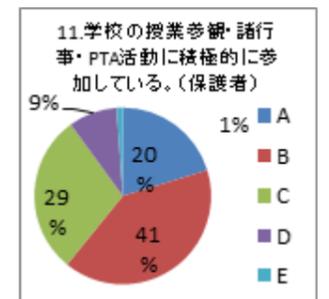
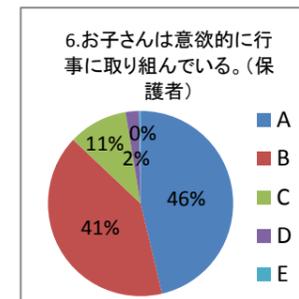
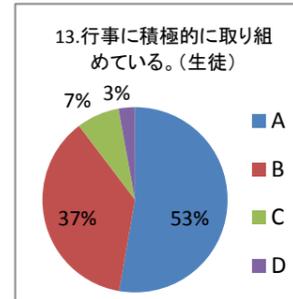


【学習】

- * 「家庭学習」は学習状況調査の結果から定着していない様子が伺えます。「家庭学習」の習慣を身に付けることは、学習活動全体に大きく影響するとともに、学力向上につながります。学習に対する意欲を高めるためにも、日頃からわからないところをなくすなど、学校と家庭での学習方法を考え、復習や予習をすすめていきます。
- * 「課題提出」については決して良好とは言えません。目標に準拠した評価では、日常の課題は大変重要なものになります。
- * 「授業改善」については、さらに生徒の意欲が高まるよう、生徒同士の話し合いを通じて、人の考えを聴いたり自分の考えを伝えたりする活動などの授業形態や、授業での身に付ける目標の明確化・視覚化に努めます。また、「支援教育」の立場からも、よりわかりやすい授業方法や授業目標の意識付けなどにも努力を続けます。
- * 図書室利用者が固定しつつあり、広く使えるよう工夫してはいますが、成果として読書活動にはまだ課題があります。
- * 図書室に足が向くような課題設定や、調べる場所としての意識付けに取り組みます。

【教務】

- * 「学校行事」への参加状況は、『意欲的』と答えている生徒は90%、保護者も87%がそう回答しています。この数字は、毎年増えており、多くの生徒が前向きに行事に取り組んでいることがわかります。（→生徒アンケート13・保護者アンケート6）
- * しかし、「地域の行事や活動」への参加状況は、『積極的』と答えている生徒は43%（昨年度と同じ）と高いとは言えません。（→生徒アンケート18）中学生が居住する地域で活動し、災害時には大きな力になって欲しいと願っています。そのためにも、「ちょボウ」（生徒会ボランティア活動）への参加など、普段から地域の行事や活動へ意欲的に関わり、より強い絆を作っていくよう、呼びかけを続ける必要があります。
- * 「学校行事」（授業参観・行事・PTA活動など）への保護者の参加意識は高く、毎回多くの保護者が学校へいらして下さっています。これからも、保護者のご理解とご協力を得て、豊かな教育を提供できるよう努力を続けます。（→保護者アンケート11）



＜学校教育目標＞

自己を高め、他を思いやり、自立できる生徒を育てる